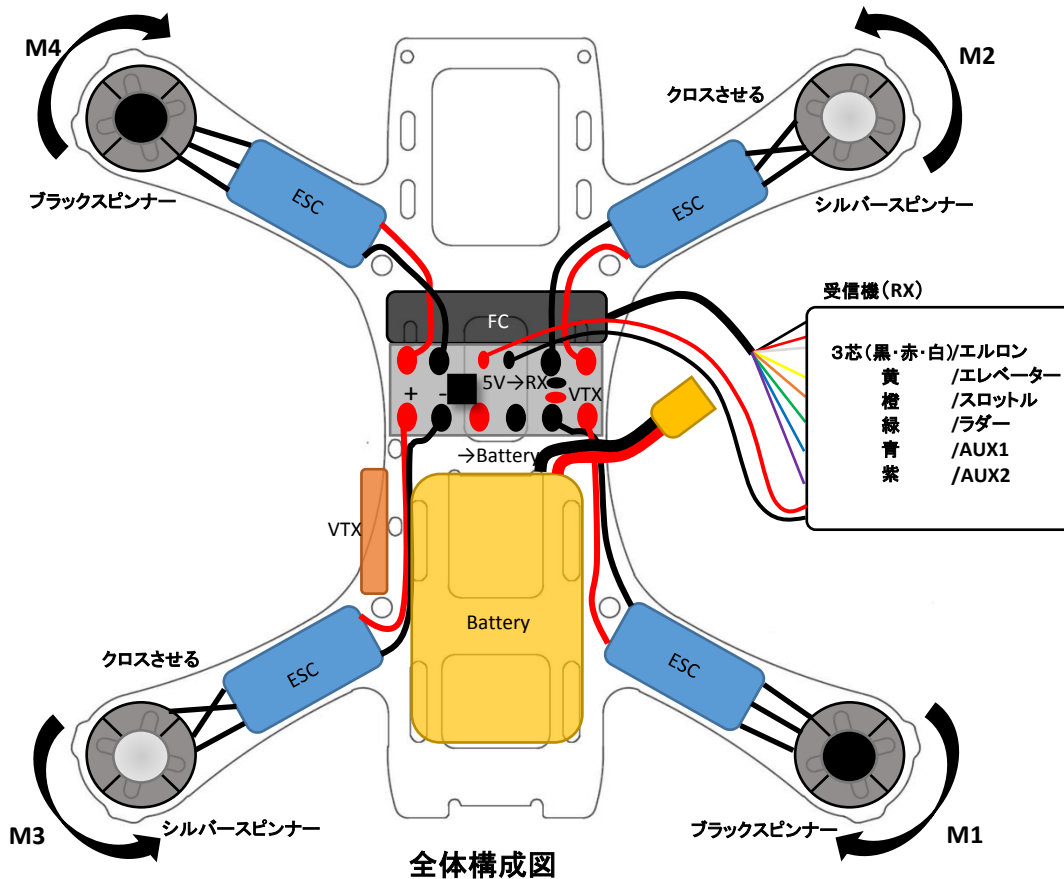


GRAVY

組立て説明書



機体組立て

1. フレームにポールを4箇所取り付ける。
2. FCをフレームにネジで装着する。その際、ポールに当たるまで前に寄せる。
3. 配電盤をFCの後ろ側に貼り付ける。なるべく薄い両面テープを推奨。
4. ESCを両面テープでアームに固定し、配電盤に+-線を半田付けする。フロント側はFCの下を通す。
※モーター側の配線は取り外しておくこと。
5. モーターは配線を根元から15mmぐらいのところでカットし、ESCに直接半田付けする。
※モーターは回転方向があるため図のような配置にする。また配線の接続方法も注意。
6. VTXの配線は電源部分の細い+-線を配電盤のVTXのところに半田付けする。
※VTXの細い線はコネクタ根元から5~7cmぐらいのところでカットする。
7. バッテリーコネクタは配電盤の→Batteryの取り出し口からとる。
※バッテリーの受け側コネクタはフレームサイドで接続するのを推奨。後方はペラに当たりやすい。
8. カメラマウントの土台は少し長いため、ネジ穴のサイドの段落ち部分をカットしフレーム幅に合わせる。
9. カメラマウントの取り付けは付属の長いほうのビスを使用します。
10. サイドフレームを差し込み、カバーフレームを取り付けます。
11. VTXをカバーフレームに差し込み、フックで固定する。カメラマウントに付属する短いビスを使用。
12. 配電盤の5V出力より電源を取り出し、受信機に供給する。サーボコネクタ付きの配線が推奨。

FCセッティング

PCと接続する際はClean Flightで調整してください。

※ARFキットについては、あらかじめFCの設定を行っております。

1.FCからの配線を図のように受信機に接続し、下記のとおり信号幅や方向を調整します。

Receiverタブを開き、パルス幅を1000～2000になるようプロポのエンドポイント/トラベルで調整する。

プロポセッティング(目安)

フタバ	JR
・エンドポイント 1～4ch・・・+-125%	・トラベルアジャスト 1～4ch・・・+-125%
・リバース AIL NORM ELE REV THR REV RUD NORM 5ch REV・・・フライトモード	・リバース THR NORM AIL REV ELE NORM RUD REV 5ch NORM・・・フライトモード

2.ESCのキャリブレーションを行います。受信機の3芯コネクタ(黒/赤/白)を抜く。

Motorsタブを開き、モーターテストのスライドをONにし、Masterスライダーを全開にします。

次にバッテリーを繋ぎ、起動音が鳴ったら2～3秒後にスライダーをすばやく一番下まで下げます。

音が鳴りキャリブレーションが完了します。

バッテリーを繋ぎ直し、Masterスライダーをあげる際、各モーターの回転が揃っているか確認。

始動方法

スロットル最下+ラダー右・・・アイドル開始

停止方法

スロットル最下+ラダー左・・・モーターストップ

※墜落時にはすぐにモーターを止めること(モーターやアンプが損傷することがあります)

フライトモード(FUTABA:左肩スイッチ/JR:右肩スイッチ)

ノーマル・・・ANGLEモード ※6軸 水平保持 角度制限あり

IDUP1・・・Horizonモード ※6軸 水平保持 角度制限なし

IDUP2・・・Acroモード ※3軸 フリーレートモード

トリム調整

トリムの調整はプロポのトリム調整では行いません

機体とプロポの電源を入れた後、スロットルを全開+傾く方向と逆の方向にスティックを倒す

※調整はエレベーターとエルロン方向のみ

※調整量はスティックを打つ回数で調整できます